

会議名	2024年度 全国自立援助ホーム協議会運営役員会 第8回		
日時	2024年 11月13日（水）13：30～15：00	場所	オンライン
出欠 敬称略	出：串間・川口・本間・前川・赤坂・江頭・鎌原・國分・関口・野原・大宮 欠：合木・恒松		
○会長挨拶			
1，全国大会について			
○福岡大会について現時点での振り返り			
・来賓についての確認作業は担当や方法を明確にすべきであった。			
・来賓、講師への御礼状は発送済。			
・現地実行委員の振り返りは後日開催予定。			
・直前でのプログラム変更についての対応は串間さんが担当。			
・意見交換会二次会に参加希望者全員は会場に入れず、フォローもできていない。			
○大阪大会について			
・11月28日に初回実行委員会。			
・大会会場と意見交換会場が別会場となる。			
2，ハンドブックについて			
・制度編と想い編は発刊し、全国大会で配布。			
・校正については次回工夫が必要であろう。			
・実践事例編は発刊次第配布。			
3，各委員会より			
○三役			
・里親・FH・施設の支援のあり方検討委員会…調査依頼あり、協力への異論はなし。個別対応職員に関する設問もあるため基準日（R3年3月1日）については意見する必要あり。			
・山本かなえ氏との意見交換、勉強会…制度政策委員の都合確認と日程調整。相談内容も制度政策委員会で検討。			
・居住支援法人セミナー…各居住支援団体と連携は今後も有効であろう。			
・FH協議会…今後、協議会の法人化について意見交換を実施。			
○制度政策			
・アンケート結果を元に予算要望に関して活動していく。会員向けに予算要望に関して意見交換会を開催予定。			
・他団体との連携や意見交換、連絡会の構成が実現できれば。			
・政治団体との活動に関して、会員ホームへのアンケートを実施したい。			
・アンケート結果について			
…措置費制度についての理解度に差がある。個別対応職員配置や一般生活費の増額、他加算もかなり付いた。			
…各地区、地域で起こっている課題、問題を掘り下げて対応していく面も必要となるか。			
…制度が新設されても、行政の地域間格差（特に補助金事業）は残ったまま。それを埋めていく動きも必要ではないか。			
…以前から暫定定員に対する心配が多い。質の向上や多機能化への注力が必要であろう。			
…市区町村との連携は既にできる。地元行政とのコミュニケーションを活発にする等の工夫は各ホームでもされたい。			
…新規ホームへのアンケートからも運営が大変との回答も見られる。原因の解明までできると良いか。			
…各地域の事情は異なるだろうから調査し、対応の検討が必要か。			
…アンケートだけでは拾い切れない問題もありそう、各ブロック長や運営役員が協力して対応されたい。			

○調査研究

- ・実践事例集の発刊が全国大会に間に合わず。
- ・来年度の調査に向けて外部委員と検討中。
- ・広報委員会と協働で調査予定。
- ・来年度は3チームに分かれて活動予定。委員の増員が必要。

○研修

- ・新規ホーム、新規スタッフ研修の要綱を近日中に作成。
- ・会員名簿の東北ブロック研修担当について修正の必要あり。

○広報

- ・全国大会後に座談会を開催。編集後HPに動画を載せる。
- ・3月発行のたよりで、国への要望に活かせる内容（利用者の声、児童相談所との協働等）を調査し、掲載予定。
- ・北海道ブロックの現委員が準会員となったが、継続可能か協議されたい⇒承認。
- ・HPのブロック活動報告ページについて…修正作業料として30,000円掛かるがいかかがか。⇒承認。

4, その他

○全国大会プレゼン資料の配布について

- ・配布不可の講師もあり、元々予定にはなかったため今回は配布しない。

○会議の記録について

- ・会議録の文字起こしソフトを試用。今後活用できるようであれば勧める。

○今後のネットワーク形成について意見交換

- ・今後、自立支援に係るネットワークが形成されるのか？どこが発起人になるのか？等の動向は気につけて、議論をしていく必要はあるだろう。
- ・例えば、社会的養育地域支援ネットワークの中に自立支援領域部門を置く等の方法も検討提案していくのも有効か。
- ・Ⅱ型、Ⅲ型含めた児童自立生活援助事業の協議会立ち上げを進めている県もある。

○退職金について意見交換

- ・中小企業退職金共済制度への加入が一般的か。
- ・法人格の違いによって対応異なるため、法人毎に情報収集する必要がある。

次回 日時：2024年 12月11日(水) 13:30～: 場所：オンライン